

女性活躍推進事業【佐世保市】

個別事業費	5,091千円
交付金額	2,452千円

地域の実情と課題

令和4年4～5月に実施した市民意識調査では妊娠・出産を機に退職や転職した女性は約4割となっており、その理由では「職場に十分な制度や理解がなかったから」が30%以上となっている。

また、同時期に実施した事業所実態調査においても、女性の管理職割合が30%未満の事業所が52.2%となっており、女性の登用が進んでいない。以上の現状から、女性の活躍を推進する上で妊娠・出産後も継続就労ができる環境整備や女性の登用促進など事業主の取組推進と、女性自身が管理職を目指すようなスキルアップ等が必要となっている。

事業の特徴

- 「女性活躍応援宣言登録制度」では、事業所を訪問して制度の説明を行い、登録を進めるなど細やかな対応を行っている。
- 登録事業所から推薦された女性管理職(候補)からなる女性プロジェクトチームでは、事業所アンケートから優良取組事業所を選定し、女性活躍推進の啓発及び参加メンバー同士の異業種ネットワークづくりにもなっている。

事業の効果

- 「女性活躍応援宣言」登録事業所の累計件数の目標243件に対し、実績236件と数値的な目標を達成することはできなかったが、これまでに応援宣言された事業所を訪問し、関係者へのヒアリングを行い、効果の検証や今後の事業の方向性について検討を進めることができた。
- 登録から概ね3年目への事業所へアンケートを行い、登録後の取組と実績や効果について確認した。

目的・目標

【目標】「女性活躍応援宣言登録制度」の説明・訪問事業所数 20件

【実績】11件

目標は達成できなかったが、事業効果の検証等を目的とした事業所訪問や担当者へのヒアリングを行うことができ、今後の事業展開に向けた課題を一定整理することができた。

連携団体

「させば女性活躍推進協議会」

構成員：佐世保商工会議所、長崎経済同友会、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎新聞社佐世保支社、十八親和銀行、(株)ヒューマングループ、長崎労働局、佐世保市

今後の課題

- 働きやすい職場環境づくりの推進に向け、引き続き制度の周知が必要である。さらに、アンケートやワーク・ライフ・バランスに関する取組の推進、女性の再就職支援などで登録事業所と連携を図ることが必要である。
- 登録事業所に対して効果的な支援を実施するには、関係機関と連携しながら、ニーズに応じた支援を行うことが必要である。

事業の概要

○「女性活躍応援宣言」登録事業所の拡大・効果確認

市内事業所に、誰もが働きやすい職場環境づくりや女性の登用促進など、女性活躍に関して取り組むことを宣言してもらう。

- ・市内事業所を訪問し、制度や趣旨の説明を行い宣言の登録を呼びかける
- ・宣言の内容を記載した登録証を作成し、交付式を開催
- ・登録から概ね3年目の事業所に対しアンケート調査を行い、取組実績や効果を確認
- ・登録事業所と宣言内容や取組が優れている事業所2つを紹介するリーフレットを作成し、市内全世帯及び学生などへ配布



(女性活躍応援宣言登録証交付式)

○「女性プロジェクトチーム」活動

登録事業所から推薦された女性管理職(候補)からなる「女性プロジェクトチーム」で年に5回活動。活動を通して女性人材の育成と異業種ネットワークづくりを図る。

- ・管理職として活躍するためのキャリア研修(長崎県主催)の受講
- ・登録事業所アンケートの中から取組や効果が優れている事業所を選定



(女性プロジェクトチーム)

○「させば女性活躍推進協議会」との連携

若年層に向けた啓発として、市内の大学生や小学生に対し「男女共同参画について」の講義や出前授業を実施した。

○女性の再就職支援のための就業相談会の実施

- ・託見付きの個別相談会(月1回)とセミナー(3回)開催
- ・企業情報サイトによる「女性活躍応援宣言登録事業所」も含めた企業紹介



(女性のための再就職支援セミナー)